

JIS Z 2801 -抗菌加工製品-抗菌性試験方法・抗菌効果- とは

細菌の増殖は、食中毒や病気、アレルギーを引き起こすだけでなく、悪臭などの原因にもなり、衛生的な生活の妨げになります。身近な製品に抗菌加工をすることで、製品上の細菌の増殖を抑え、より衛生的な生活空間を提供することができます。これらの抗菌加工を施したプラスチックなど非多孔質表面の抗菌効果を評価する方法が JIS Z 2801 です。

➤ 適用範囲

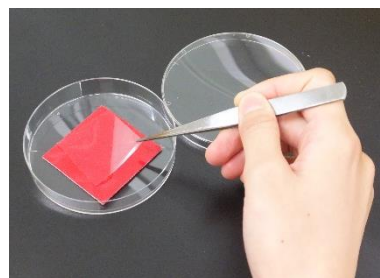
プラスチック製品・金属製品・セラミックス製品などが対象です。
(繊維製品は対象外のため、JIS L 1902 で評価します。)

➤ 試験概要

5cm 角の抗菌加工品と無加工品に菌液を接種し、4cm 角のフィルムを被せ、24 時間培養します。培養後、試料上の生菌数を測定します。抗菌加工品と無加工品の生菌数を比較し、どの程度細菌の増殖を抑制したかを抗菌活性値[R]として算出します。

➤ 抗菌効果

$R \geq 2.0$ 抗菌効果あり



SIAA マーク

SIAA マークとは抗菌製品技術協議会(SIAA)が制定したシンボルマークのことです。抗菌性・安全性・適切な表示の 3 つの基準を満たした製品に SIAA マークを表示することができます。ニッセンケン は JNLA(産業標準化法試験事業者登録制度)を取得する指定試験機関として、当該製品の抗菌性を評価するための試験を行っています。



詳細は・・・

- ▶ 本規格に関するより詳細な資料(PDF ファイル/20 ページ)は、[こちら](#)からダウンロードできます。
- ▶ バイオケミカルグループ [特設サイト](#)では様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください。